

Media Release

全国の小中学生の子を持つ父母 1,000 人とその子ども 1,000 人を対象にした調査 親が将来子どもについてもらいたい仕事の 1 位は公務員 子どもが将来つきたい仕事の 1 位は会社員

- 子どもの約 7 割が将来外国で働きたいとは思わないと回答し内向き志向が鮮明に -

[2016 年 3 月 23 日 東京]

世界最大^{※1}の人材サービス企業であるアデコグループの日本法人で、総合人事・人材サービスを展開するアデコ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：川崎健一郎、以下「アデコ」）は、全国の小中学生の子を持つ父母 1,000 人（父親 528 人・母親 472 人）と、その子ども 1,000 人（男女各 500 人）を対象に実施した、「将来ついてもらいたい仕事」および「将来つきたい仕事」に関する調査の結果を発表しました^{※2}。

【「将来ついてもらいたい仕事」および「将来つきたい仕事」に関する調査の結果 概要】

1) 親（父親・母親）が「将来子どもについてもらいたい仕事」

- 1 位 公務員 (22.8%)
- 2 位 会社員（サラリーマン・OL）（10.9%）
- 3 位 医者（7.8%）

2) 子ども（男子・女子）が「将来つきたい仕事」

- 1 位 会社員（サラリーマン・OL） (8.0%)
- 2 位 パティシエ（お菓子職人）（6.3%）
- 3 位 医者（5.9%）

3) 子ども（男子・女子）が「好きな教科」、「嫌いな教科」

<好きな教科>

- 1 位 算数・数学 (22.0%)
- 2 位 国語（13.6%）
- 3 位 体育・保健体育（13.0%）

<嫌いな教科>

- 1 位 算数・数学 (24.9%)
- 2 位 国語（13.2%）
- 3 位 体育・保健体育（7.8%）

4) 将来外国で働いてみたいと思うか、思わないか

- そう思う 31.7%
- そう思わない 68.3%

Media Release

1) 親（父親・母親）が「将来子どもについてもらいたい仕事」

小中学生の子を持つ全国の父母 1,000 人に、自身の子どもに将来どのような仕事についてもらいたいと質問したところ、1 位は公務員（22.8%）でした。2 位は会社員（サラリーマン・OL）（10.9%）、3 位は医者（7.8%）でした。子どもに対し、将来は安定した職業についてもらいたいと考える父母が多いことが伺える結果となりました。

男女別に見ると、父母が考える「男子に将来についてもらいたい仕事」は、1 位が公務員（27.1%）、2 位が会社員（サラリーマン・OL）（11.6%）、3 位が医者（10.1%）でした。「女子に将来についてもらいたい仕事」は、公務員（18.5%）、2 位が会社員（サラリーマン・OL）（10.1%）、3 位が看護師（6.0%）でした。

親（父親・母親）が「将来子どもについてもらいたい仕事」（n=1,000）

順位	職業	%
1	公務員	22.8
2	会社員（サラリーマン・OL）	10.9
3	医者	7.8
4	看護師	3.4
5	専業主婦/主夫	2.6
6	学者・研究者	2.5
7	先生（大学・高校・中学・小学校、幼稚園など）	2.1
8	経営者	2.0
9	自営業・個人事業主・フリーランス	1.7
9	野球選手	1.7

親（父親・母親）が「将来男子の子どもについてもらいたい仕事」（n=1,000）

順位	職業	%
1	公務員	27.1
2	会社員（サラリーマン・OL）	11.6
3	医者	10.1
4	学者・研究者	3.2
5	経営者	3.0
6	野球選手	2.8
7	自営業・個人事業主・フリーランス	2.1
8	弁護士	1.6
8	その他の専門の仕事	1.6
10	サッカー選手	1.4

親（父親・母親）が「将来女子の子どもについてもらいたい仕事」（n=1,000）

順位	職業	%
1	公務員	18.5
2	会社員（サラリーマン・OL）	10.1
3	看護師	6.0

Media Release

4	医者	5.5
5	専業主婦・主夫	5.1
6	先生（大学・高校・中学・小学校、幼稚園など）	3.4
7	パティシエ（お菓子職人）	3.0
8	キャビンアテンダント（CA）	2.3
9	ピアノやお稽古事の先生	2.2
10	栄養士	2.0

2) 子ども（男子・女子）が「将来つきたい仕事」

全国の小中学生 1,000 人に、将来どのような仕事につきたいか質問したところ、1 位は会社員（サラリーマン・OL）（8.0%）でした。2 位はパティシエ（お菓子職人）（6.3%）、3 位は医者（5.9%）でした。現代の子どもの安定志向が伺える結果となりました。

男女別に見ると、男子が「将来つきたい仕事」は、1 位が会社員（サラリーマン・OL）（10.2%）、2 位がサッカー選手（10.0%）、3 位が公務員（6.6%）でした。女子が「将来つきたい仕事」は、1 位がパティシエ（お菓子職人）（11.0%）、2 位が先生（大学・高校・中学・小学校、幼稚園など）（6.4%）、3 位が会社員（サラリーマン・OL）（5.8%）でした。

子ども（男子・女子）が「将来つきたい仕事」（n=1,000）

順位	職業	%	2015年順位
1	会社員（サラリーマン・OL）	8.0	n/a ^{※3}
2	パティシエ（お菓子職人）	6.3	1
3	医者	5.9	4
4	公務員	5.7	n/a
5	サッカー選手	5.6	3
6	先生（大学・高校・中学・小学校、幼稚園など）	3.9	2
7	野球選手	3.4	5
8	学者・研究者	2.6	6
9	看護師	2.5	圏外 ^{※4}
10	警察官・刑事	2.1	圏外

男子が「将来つきたい仕事」（n=500）

順位	職業	%	2015年順位
1	会社員（サラリーマン・OL）	10.2	n/a
2	サッカー選手	10.0	1
3	公務員	6.6	n/a
4	野球選手	6.2	3
4	医者	6.2	2
6	学者・研究者	3.4	5
7	警察官・刑事	3.2	7

Media Release

7	運転手（バス・タクシー・電車など）	3.2	9
9	救急・消防士	2.8	圏外
9	建築士・大工	2.8	7
9	エンジニア・プログラマー	2.8	6

女子が「将来つきたい仕事」（n=500）

順位	職業	%	2015年順位
1	パティシエ（お菓子職人）	11.0	1
2	先生（大学・高校・中学・小学校・幼稚園など）	6.4	2
3	会社員（サラリーマン・OL）	5.8	n/a
4	医者	5.6	3
5	公務員	4.8	n/a
6	看護師	4.6	6
7	服飾デザイナー	3.0	圏外
8	ピアノやお稽古事の先生	2.8	圏外
9	漫画家	2.6	5
10	歌手	2.4	9

3) 子ども（男子・女子）が「好きな教科」・「嫌いな教科」

全国の小中学生 1,000 人に、好きな教科について質問したところ、1 位は算数・数学（22.0%）、2 位が国語（13.6%）、3 位が体育・保健体育（13.0%）でした。嫌いな教科についての回答も、1 位は算数・数学（24.9%）、2 位が国語（13.2%）、3 位が体育・保健体育（7.8%）で、好きな教科と嫌いな教科のトップ 3 が同じ結果となりました。子どもにとって、得手・不得手ははっきりしやすいのがこの 3 科目であると推測されます。

子どもが好きな教科（n=1,000）

順位	教科	%
1	算数・数学	22.0
2	国語	13.6
3	体育・保健体育	13.0
4	図画工作・美術	9.7
5	社会	9.3

子どもが嫌いな教科（n=1,000）

順位	教科	%
1	算数・数学	24.9
2	国語	13.2
3	体育・保健体育	7.8
4	外国語	7.3
5	社会	6.0

Media Release

4) 将来外国で働いてみたいと思うか、思わないか

全国の小中学生 1,000 人に、将来外国で働いてみたいと思うかどうかについて質問したところ、「そう思う」という回答が 31.7%、「そう思わない」という回答が 68.3%でした。全体の約 7 割が国外で働いてみたいという考えを持っておらず、日本の子どもの内向き志向が鮮明に表れる結果となりました。

将来外国で働いてみたいと思うか、思わないか (n=1,000)

	%
思う	31.7
思わない	68.3

(*1) Staffing Industry Analysts 2015、人材サービス企業売上ランキングより

(*2) 子どもが将来つきたい仕事に関するデータの一部は、2016 年 1 月 6 日付のプレスリリースで発表しています

(*3) n/a: 2015 年は選択肢になかった項目

(*4) 圏外: 2015 年は 10 位以内に入っていなかった項目

【調査概要】

調査対象：日本全国の小中学生の子を持つ父母とその子ども（6 歳～15 歳の男女）

サンプル：父母 1,000 人（父親 528 人・母親 472 人）、子ども 1,000 人（男女各 500 人）

調査方法：インターネット調査

実施時期：2015 年 11 月

■ アデコ株式会社について

アデコ株式会社は、60 を超える国と地域で事業展開する総合人材サービスのグローバルリーダー、アデコグループの日本法人です。コンサルティングを通じて、多様な人材を活かし、多岐にわたる業務の最適化を可能にするソリューション（人材派遣、人材紹介、アウトソーシングなど）を提供しています。アデコは働く皆様と企業の“better work, better life”の実現を目指し、更なるサービスの強化に取り組んでいます。アデコ株式会社に関するより詳しい情報は、当社ホームページ www.adecco.co.jp をご覧ください。

【この件に関するお問い合わせ先】

アデコ株式会社 Communication & Branding 部

Tel. 03-6743-8085